



情報誌

FAR

44 号

事務局：公益社団法人 日本放射線技術学会事務局内

〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町 167 ビューフォート五条烏丸 3F

TEL:075-354-8989. FAX:075-352-2556/http://www.jsrt.or.jp. Email:office@jsrt.or.jp

## 《ごあいさつ》

### 新たな年を迎えての思い

副会長 速水昭雄



会員の皆様、新年おめでとうございます。

昨年は世界的に IS のテロによる集団虐殺の被害も各地で見受けられ、また各地で異常天候による自然災害も発生し、決して安心できる平和な情勢ではなかったと思います。皆様にとっては如何でしたか、今年は良い年であることを祈念申し上げます。年を取るにつれ 1 年の経過が益々早く感じられます。昨年の 1 年を振り返って何か自慢できるような成果があったのかと自らに問いただすとき、これで良いのかと反省する年でもありました。

人は基本的にその人のライフワークにより目標や課題は異なると思いますが、今私が課題とすることは、この年になるとこれからの健康寿命をどう達成するかということであります。いくらアイデアや希望があっても、まずは健康でなくては何もできませんし、精神的にはできるだけプラス思考でありたいと考えます。

今年の学会総会は 4 月 14 日から 17 日に横浜で開催され、第 72 回総会学術大会テーマは

「Instructive, Innovative, and Integrative Radiology」：まなび、のびし、つなげる放射線医学です。

また今年から発表スライドの全面英語化が義務付けられたようですが、会員の戸惑いもありますが、これも国際化を目指すための一里塚なのでしょう。

FAR 会で皆さんにお会いできる機会も年 2 回しかなく、秋季での 1 泊の FAR 会懇親会は、地元幹事さんのお心使いで毎年楽しい企画をいただいておりますが、最近は二十余名程度の参加者であり、もう少し多くの方の参加を願っています。昨秋の金沢での秋季学術大会後の FAR 会は能登半島を巡る旅を企画いただき、NHK の朝ドラ「まれ」の影響と北陸新幹線の効果もあり、多くの観光客もおられました。私にとって能登の旅はすべてに初経験であり、大変楽しい思い出となりました。何より印象に残ったのは日本海岸千里浜の砂浜約 8 km をバスに乗ったままのドライブの体験ができたことであります。

また今年の横浜での FAR 会懇親会は久しぶりに中華街の老舗珍珍楼での会食となりますので、是非多くの FAR 会員の皆様とお会いできることを楽しみにしています。毎年春は横浜での FAR 会ではありますが、横浜はますます進化しており、観光都市としての新しい発見も沢山ありますが、食の老舗も多くあり今年も萩原先生のお世話により中華料理をいただけることを感謝申し上げます。

#### 内 容

1. ごあいさつ 副会長 速水昭雄
2. 第 72 回総会学術大会へのお誘い 大会長 小倉明夫
3. 2016 FAR 会 懇親のタベ 代表幹事 前田幸一
4. 2015 FAR 会 能登の旅報告 代表幹事 宮地利明
5. 会員動向
6. 会からのお知らせ
7. JSRT 情報
8. 第 45 号の特集原稿募集
9. 連載《ご当地自慢》「我が町 松本」 平野浩志
10. 編集の小窓



(筆ぐるめ、より転載)

## 《第 72 回総会学術大会へのお誘い》

### ご 挨 拶

第 72 回総会学術大会 大会長 小倉明夫



FAR 会の先生方には、いつも適切なアドバイスを頂き、またご指導いただき心より感謝しております。

この度、第 72 回総会学術大会の大会長を仰せつかりました小倉でございます。本大会では、日本放射線技術学会の国際化特別委員会の答申に基づき、Cypos および口述発表のスライドを 100%英語化いたしました。これは、世界的にも最先端な放射線技術学を先導している日本放射線技術学会の研究内容を、世界に伝えたいという願望からであります。

残念ながら横浜での総会学術大会は海外からの発表者や参加者が多いとは言えませんが、毎年増加していることは事実です。海外の研究者に対して発表形式が日本語では、研究内容を理解していただくことはできません。そのために、プレゼンテーションスライドだけでも英語化しようという考え方です。しかし、まだまだ学会会員が、すべて高い英語力を有しているとは考えられません。学会で最も重要な、研究に対するディスカッションが英語化のために疎外されれば、これは本末転倒です。そのため、Cypos には日本語表記もコメント欄に入れていただき、また発表言語も日本語とすることで、十分な討論がいただけるように配慮しております。また、質疑応答時間を有効に活用するため、昨年度の平野大会長の第 71 回大会から、質問者はあらかじめマイクの後ろに立ち、自分の所属氏名を名乗らずに発言することを推奨しています。

FAR 会の先生方も是非、進化しつつある発表会場に足をお運び頂き、発表風景をご覧くださいますと幸いです。私の学術大会への拘りは、なるべく発表登録法や発表方法を変化させない事でした。年度ごとに、これらを変えていると、発表者や聴衆者が戸惑い、それによって学術大会で最も重要な討論がおろそかになることを危惧しました。前述のとおり、発表スライドは英語化しましたが、それ以外は昨年のを極力踏襲しようと配慮いたしました。

横浜での技術学会・学術大会参加者は、昨年は 5,000 人を超えました。また、JRC への参加者は 20,000 人を超えています。年々、参加者が増加する中で、限られた会場数のために、立ち見が多く出るなど問題点も多々あります。JRC では横浜以外の会場も模索しているところではありますが、なかなか該当するところがありません。そのため、サテライトを使用するなど、創意工夫をしながら現状では対処しております。会場問題につきましても、是非、FAR 会の先生方からもご意見、アドバイスをいただけますと幸いです。

今大会のシンポジウムについてご紹介いたします。合同シンポジウムとしては、「次の 25 年の放射線医学の進歩を見据えて」「医療被曝の線量評価と管理」「造影剤が放射線医療にもたらした功績」の 3 つであり、技術学会のシンポジウムは、「DRL の臨床的効果と課題」「インターベンションの診断参考レベルの確定にむけて」「ワイヤレスタイプ可搬型 FPD の技術的諸問題」の 3 つを開催します。最近の注目内容ですので、面白い討論が期待できるところです。

最後になりましたが、先生方が作り育ててこられた技術学会を、さらに発展させるべく我々は努力いたしますので、横浜まで出向いていただき、温かく見守っていただくとともに、ご指導いただけますことを心よりお願い申し上げます。



(JRC、ホームページより転載)

## 《2016 年 FAR 会懇親の夕べ》

### 横浜中華街での懇親会へどうぞ

代表幹事 前田幸一

総会学術大会でのお疲れを癒し地元横浜中華料理をお楽しみいただく企画です。

例年の横浜での懇親会は、世話人各位のアイデアで楽しく和気あいあいの企画となって継続されて参りました。今回は、久しぶりに中華街での懇親会を計画いたしました。

先日下見（味見）に行ったときにも相変わらず多くの人が味覚を楽しみショッピングをしており、改めて横浜中華街の魅力の一端を感じたものでした。参加されるメンバーは、経験豊かな年を重ねた方が多くなってまいりましたので「量より質」を重点にメニューを決めさせていただきました。飲み物も多種少量の楽しみ方を提案したいと思っております。

この件につきましては、ご希望で変更も可能です。

多くの会員の皆様の御参加をお待ち申し上げます。

#### 記

日 時 平成 28 年 4 月 16 日（土） 18 時 30 分より 20 時 30 分まで  
会 場 聘珍樓 横浜市中区山下町 149（中華街大通り中央） ☎045-681-3001  
JR:石川駅下車 北口より徒歩 7 分  
みなとみらい線:元町中華街駅 2 番出口(山下町口)より徒歩 3 分  
会 費 9,000 円（会員）、10,000 円（非会員）  
参加申込方法 情報誌第 44 号同封の申込用葉書(3 月 15 日必着)

世話役 萩原 明 携帯電話 090-2634-6231

前田幸一 携帯電話 090-2738-5993



(写真は、聘珍樓本店ホームページより転載)

## 《2015 秋の FAR 会報告》

### 「2015 能登を巡る旅」

代表幹事 宮地利明

北陸が秋色に染まり始めた 10 月の初旬、日本放射線技術学会・秋季学術大会の最終日から翌日の日曜にかけて、FAR 会「2015 能登を巡る旅」19 名＋幼児 1 名の一行で能登半島をぐるりと巡ってきました。幸いにも天候にも恵まれ、暑くも寒くもなく爽やかな自然の空気を感じながら方々を訪れました。

最初に**金沢文化ホール**横の道路に着けた大型観光バスに乗車して、今回の秋季学術大会長および実行委員、次期学術大会長、理事 他、多数の方々に見送られて（写真 1）、千里浜の**なぎさドライブウェイ**に向かいました。この砂浜は粒子が細かく路面が比較的固いために、日本で唯一、海岸線に沿って砂浜



を通行できるのですが、年々浸食の影響によってこの道路を良好な状態に維持するのが大変ようです。この砂浜でスタックして JAF のお世話になっている車を目にしたたり、私たちのバスが通り過ぎた直後にドライブウェイが通行止めになるなど臨場感満点でした(写真2)、ここのパーキングで多数の**大きな砂のオブジェ**(写真3)を眺めながら千里浜を後にし、宿泊地の**和倉温泉・ホテル大観荘**を目指しました。

このホテルは能登島大橋を含めた七尾湾を一望できる作りになっていました。また温泉は透明な柔らかい泉質でとてもリラックスできました。夜の食事会では海の幸に舌鼓を打ちながらお酒も進み、二次会でも大変盛り上がりました(写真4)。盛り上がり過ぎて多くの先生方が二日酔いでダウンされるのではと思いきや、翌日は早朝から多くの先生方が温泉街を散策するなどシャキッとされているのに驚かされました(写真5)。

旅の二日目は最初に**輪島の朝市**を訪れました。小雨がぱらつく中、賑やかな朝市通りでお土産の品定め最中に、突然大嵐に見舞われて一時てんやわんやでした。まさしく金沢の昔からの言い伝え「弁当忘れても傘忘れるな」を再認識しました。その後、能登半島の先端近くにあり能登の里山里海の象徴かつ世界農業遺産である**白米千枚田**(しろよねせんまいだ)に行きました(写真6)。千枚田を上から見た眺めはまさしく絶景で、下の方まで降りられた先生も何人かいらっしゃいました。次に昼食を取るために和倉温泉にあるホテル**加賀屋**(プロが選ぶ日本の旅館 35年連続総合日本一)直営の割烹料理店に行きました。そこでお酒を少し飲みながら海の幸をもう一度堪能した後、**金沢駅**に向かいました。

以上のように大変楽しい道中でしたが、雑感を少しだけ述べさせていただきます。実は不勉強のため FAR 会の名称は”Fellowship for the Advancement of Radiology”を略したことを今回の旅行で初めて知りました。素晴らしい会の名称であることをあらためて知りましたが、FAR 会には”faraway”の意味、すなわち諸先生が遠い道を開拓しながら歩まれ放射線技術学の礎を築かれたことも含んでいると勝手に思っております。今回、FAR 会の旅行を通してこの偉大な先生方とお話しできる機会に恵まれて、大変光栄でした。

最後にこの旅行に沢山差し入れ下さった第43回秋季学術大会大会長ならびに実行委員会、日本放射線技術学会事務局諸氏に深謝いたします。

また本旅行の企画を全面的にサポート下さった神澤先生、山先生をはじめ FAR 会の先生方に心から感謝いたします。



写真1



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6

### 《会員動向》

- ・ 会員数（平成 27 年 11 月 30 日現在）：100 名
- ・ 新入会員（平成 27 年 8 月 1 日以降）：2 名
  - 橋田昌弘（熊本県熊本市、平成 27 年 9 月 9 日付け）
  - 堀井 均（京都府京都市、平成 27 年 9 月 11 日付け）

### 《新入会員紹介》

（「写真」ならびに「近況」「趣味」の記述内容は入会申込書に記載されたものです）

- ・ 橋田昌弘（熊本県熊本市）



近況：定年まで1年半、多少焦りを感じる今日この頃です。  
 趣味：元々無趣味ですが、18年ぶりに新車を購入。現在、ドライブが趣味になっています。

- ・ 堀井 均（京都府京都市）



近況：最近、健診にて慢性疾患を指摘され、定期的な血液検査でデータが良くなるように毎日治療薬を飲むことになりました。  
 意外と毎日忘れずに飲めるものですね。  
 趣味：趣味と健康を兼ねて以前やっていた週1程度のジョギングを楽しんでいます。走った後数日は筋肉痛です。  
 また、スカイプを利用して美人の外人講師と30分間の英会話の勉強を楽しんでいます。

### 《会からのお知らせ》

平成 27 年度第 2 回世話人会議報告

平成 27 年 10 月 10 日 金沢市ニューグランドホテル レストラン「ロア」にて開催。

山田会長以下世話人 18 名が出席し、以下の議題について討議・審議した。

1. 会務報告
2. 業務報告および、収支計算書報告(4 月～9 月)
3. 運営委員会報告

4. 平成 28 年度事業計画(案)・収支予算(案)の策定について

正副会長と正副総務委員長に一任する事とした。

5. 情報誌関係：第 44 号を予定通り平成 28 年 1 月 15 日に発行する予定等

6. 懇親活動

1) 「2015 懇親の夕べ」会計報告

2) 「2015 能登を巡る旅」について

参加者数：19 名＋幼児 1 名(内、会員家族 2 名＋幼児 1 名)で予定通り行う。

3) 「2016 懇親の夕べ」企画（本号《2016 懇親の夕べ》参照）

・代表幹事：前田幸一

・開催日時：平成 28 年 4 月 16 日(土) 18:30 ～ 20:30

・開催場所：聘珍楼（横浜市中区山下町 149 [Tel:045-681-3001](tel:045-681-3001)）

・会 費：9,000 円（補助金：1,000 円/名）、10,000 円：非会員

・申込方法：情報誌 44 号同封葉書

・申込み締め切り：平成 28 年 3 月 15 日事務局必着

4) 「2016 日光を巡る旅」企画

・代表幹事：石井 勉

・開催日時：平成 28 年 10 月 15 日(土)、16 日(日) 一泊二日

・参加費用：25,000 円（会員）、30,000 円（非会員）

・行 き 先：日光方面（詳細スケジュールは情報誌第 45 号に掲載予定）

・申込方法、申込み締め切り日等は情報誌第 45 号に掲載予定

7. その他

1) 名誉会員推戴の件

平成 28 年 1 月 1 日をもって、下記 2 名の会員が米寿(数え年 88 歳)を迎えられるので、規約第 4 条の定めにより本会名誉会員に推戴する。

名誉会員推戴者：垣鍔房穂(1929 年生)、津田元久(1929 年生)

2) 平成 29 年度からの世話人に関する件

平成 28 年度秋までに平成 29 年度からの世話人を選任しておかなければならない事で一致した。

3) 規約の一字句の改訂

現在 JSRT では「会長」を「代表理事」に、「分科会長」を「部会長」に、また「部会長」を「支部長」と称している。従って、FAR 会規約の夫々該当する字句を JSRT が称している字句に変更する事とし、あわせて付則に「規約の一部改訂（第 4 条）平成 27 年 10 月 10 日世話人会議承認後、即日施行」を追記する事とした。

4) 会議開催予定

1) 平成 28 年度第 1 回世話人会議開催予定

日時：平成 28 年 4 月 16 日(土) 12:00～13:30

場所：横浜市（パシフィコ横浜会議センター 予定）

2) 平成 28 年度第 1 回運営委員会・総務委員会合同委員会開催予定

日時：平成 28 年 8 月下旬（予定）、 場所：未定

~~~~~  
《JSRT 情報》

『第 72 回総会学術大会』大会テーマ：「Instructive, Innovative, and Integrative Radiology」

まなび、のびし、つなげる放射線医学

大会長：小倉明夫（群馬県立県民健康科学大学）



会 期：平成 28 年 4 月 14 日（木）～17 日（日）  
会 場：パシフィコ横浜会議センター他

『第 44 回秋季学術大会』

大会長：梁川範幸（東千葉メディカルセンター）  
会 期：平成 28 年 10 月 13 日（木）～15 日（土）  
会 場：ソニックシティ（大宮）

《原稿・作品募集》

【第 45 号特集テーマに対する原稿募集】（5 月 15 日発行予定）

■□■□■□「自分へのご褒美」□■□■□■

第 44 号募集の特集「自分へのご褒美」に、応募がありませんでしたので再度、「自分へのご褒美」にて募集致します。概要は、自分へのご褒美を決めている方いらっしゃいますか。よく頑張った後とかやらないきや行けない事をやり遂げた時、我慢の連続で落ちこぼれそうになった時を乗り越えて先へ行けた時など、ちょっとした贅沢を自分にご褒美など、そして何をご褒美として贈るかなど、会員の投稿をお待ちしています。

特集のテーマにまだ一度も応募されていない会員は、自分自身をアピールする機会ともなりますので応募宜しくお願い致します。勿論、既に複数回応募されている会員の応募也大歓迎です。

記

原稿内容：副題（自由にお付け下さい）

原稿文字数：800 字～1200 字（400 字原稿用紙 3 枚以内）

写 真：ご自身の写真（半身）文字数に含みません。内容に関する写真及び図表は、1 枚につき原稿文字数から 100 文字を減じて下さい。

写真・図表は、デジタルデータが希望ですが、(JPG、PDF、EXL 等) アナログデータも可。

原稿形式：ワード、一太郎、TEX 等（ワープロ、手書きも可）

提出期限：平成 28 年 4 月 15 日必着でお願い致します。

送 付 先：森 克彦 〒350-0064 川越市末広町 1-11-22 宛

E-mail：[mo-katsu@jt4.so-net.ne.jp](mailto:mo-katsu@jt4.so-net.ne.jp) mokamokawh@gmail.com

《連 載》《ご当地自慢》

「我が町 松本」

松本市 平野浩志



FAR 会の皆様、信州の平野です。このたびは「ご当地自慢」の執筆の機会を与えていただきまして大変ありがとうございます。ご当地自慢の前に、2015 年 4 月 16 日～19 日横浜で開催いたしました JRC2015. 第 71 回日本放射線技術学会・総会学術大会が盛会裏に開催できましたことをご報告するとともに、皆様の温かい励ましのお言葉に支えられ浅才の私が大会長として、無事務めることが出来ましたこと改めてお礼申し上げます。5,005 名の学会参加を頂きました。

私の故郷

私は、松本生まれの松本育ち、松本県ヶ丘高校を卒業、千葉大の診療放射線技師学校の 3 年間故郷を離れていましたが、卒業とともに松本に戻り信州大学医学部附属病院に勤務しましたので、完全なジモピーです。

松本はどこにあるのか？

松本は、本州の中央にある長野県のそのまた真ん中に位置しています。東京からは、新宿駅で特急あずさに乗って 2 時間 40 分くらいです。また名古屋からは、特急しなのに乗っていただき 2 時間です。

松本空港を利用すると、札幌からは、新千歳空港からFDA（フジドリームエアラインズ）で1時間半のフライトですし、福岡からもFDAで1時間半のフライトですが、残念ながら、伊丹便（8月のみ可）、羽田便のアクセスはありません。

### 松本はどんなところか

四方を山に囲まれ海がなく、四季折々の変化があり、春は新緑、秋は紅葉、夏の朝夕は涼しいですが、日中は盆地特有の30℃を超える真夏日が2週間ほど続きますし、冬は毎朝零度以下になり-10℃の日もあります。車の暖機運転は必須です。太平洋側気候のため毎日晴天が続き、県内でも雪の少ない地域であり、春先に東京が雨降りなら、松本は雪になることがしばしばあります。稀に桜の花と雪景色もあります。ちなみに松本市内の桜の開花は、4月10日前後です。

### 松本から何を連想されますか

**松本城**：文禄（1593～1594）年に建てられた五重六階の天守で、完全な木造建築、国宝に指定され、黒いから烏城とも呼ばれ松本市民の誇りです。お堀の周りは桜が植えられ春は松本城の夜桜会が開催されますし、夏は松本城薪能、秋は松本そば祭りが開かれます。市街地は城下町の名残である蔵造りの家並み、袋小路の道などがあちこちに残っています。

<http://www.matsumoto-castle.jp/about>

**そば**：信州を代表する食べ物です。そばは、寒冷地を好み、日照時間の短い痩せた土地でも育つことから古くから信州で栽培されてきました。松本市内でも20店舗以上のそば処があり、趣味でそばを打つ人も多くいます。そば切りの技術もここ信州が発祥の地だと言われています。色が黒く、そばの風味が強い「出雲そば」は、そばの実を殻ごと引くのが特徴で、松本藩士だった松平直政が、1638年出雲の松江に転封になった際にそば切りの技術を伝えたと言われています。私の一押し店は、穂高にある「大梅」（大美味え）と記憶しておけば忘れません。

<http://oumesoba.web.fc2.com/menu.html>

次店は塩尻の「丸泉」細切りのそば、塩尻のワインを飲みながらそばを堪能できます。

<http://awaremi-tai.com/soba0183.html>

松本市内なら、「なごみ」を紹介します、そばも旨いがこのラーメンは絶品です。そば屋が出すカレーも旨いと聞いたことがあります。私はこの店に行くとラーメンになってしまいます。もう1つ、なごみの唐揚げは美味しいです。

<http://www.nagomi-soba.com/>

駅そばもなかなかいいです。信州大学病院のレストランにも、そば屋が入っていますので本物の手打ちそばを食べることができます。





**わさび**：そばの薬味といえはわさびです。安曇野にある大王わさび農場は観光スポットとしても有名です。  
<http://www.daiowasabi.co.jp/> 安曇野は北アルプスの伏流水に恵まれた場所で、わさびに必要な清らかな水が湧き出ています。春、わさびに花が咲きます。この花を収穫してお浸しを作って食べるのが好きです。花わさびを2〜3cmに切りよく揉みます。(地元ではいじめると言います) 砂糖、塩を入れ熱湯を掛けて一晩置きますと、ピリッと辛い花わさびのお浸しの出来上がりです。わさびの風味を味わうには、直前に下ろします。わさびの芋は細かな目のおろし金で摩り下ろします。この時、砂糖を付けると辛さが増します。お土産にわさび漬けという酒粕にわさびを細かくしてまぜたものがありますが、そのまま酒粕を食べて下さい。洗っても中に何もはいていません。

**湧き水**：松本市内には数多くの湧き水が出ています。雪解けの水が伏流水となった地下水が豊富で日本酒作り、味噌作りに使われています。こだわりの人は、湧き水をペットボトルに汲んできて、お茶をたてたり、コーヒーを飲んだりしています。ちなみに松本の川は、信濃川となり日本海に注がれています。

**日本酒**：北アルプスを水源とする豊富なミネラルを含む伏流水を使った日本酒が沢山あります。私のお薦めは、「美寿々」私の高校の同級生が作っています。他には大雪溪、大信州、岩波などあります。

**ワイン**：地球温暖化の影響で、ワイン造りに最適な気候が山梨の甲府から標高の高い松本盆地に移ってきました。塩尻はワイン酒造が盛んです。中でも林農園の五一わいん、信濃ワインが有名です。塩尻の高校では酒造免許を持ち、ワインを生産しています。松本市内には、フランスのボルドーと似た地形の山辺地区で古くからぶどう作りが行われ、長野県のぶどうの発祥地です。

**りんご**：信州りんご、安曇野りんごのブランドでシャキとした歯ごたえと蜜がたっぷり入ったフジが知られています。りんごを切ると種の周りを中心に、透明感のある蜜がたっぷり入っていますので、腐っているのかと勘違いしない下さい。

**馬刺し**：熊本の馬刺しは有名ですが、松本も馬刺しが本場です。赤み、馬トロ、馬ロース、タテガミ、大動脈を食べさせるお店があります。居酒屋でも食べられますし、家庭用にスーパーでも購入できます。珍味としては、馬刺しの味噌漬けを食べさせる店があります。

<http://p.twipple.jp/WrRWJ>

**温泉**：松本市周辺は温泉の宝庫です。市街地の近くには浅間温泉、美ヶ原温泉、竜島温泉があり、山の麓には扉温泉、崖の湯、坂巻温泉、中の湯、白骨温泉がある。美ヶ原温泉は、レトロな佇まいであり、扉温泉の明神館は、テレビのサスペンスドラマに良く出てくる旅館がある。白骨温泉は、3日入れば3年は風邪をひかないと言われている。硫黄の強い温泉です。

<http://www.tobira-group.com/myojinkan/facility/>



浅間温泉は、松本の奥座敷とも呼ばれていて信州大学から車なら5分で行けるので、気分転換に日帰り入浴によく使っています。

**サイトウ・キネン・フェスティバル**：平成4年9月に松本で誕生した小澤征爾総監督とサイトウ・キネン・オーケストラが主になりオーケストラコンサートとオペラ、室内楽で構成される総合的国際音楽祭です。2015 セイジ・オザワ松本フェスティバルが開催された。

**上高地**：河童橋から望む奥穂高を中心とする山々の雄大さと、新緑のグラディエーションが最高だと感じています。X線フィルムの白から黒までの階調に通ずるところがあると思う。日本アルプスの魅力を世界に紹介した英国人宣教師ウォルター・ウェストンのレリーフが梓川の岸辺の岩に埋め込まれています。河童橋から6時間ほど歩きますと涸沢という穂高岳登山の拠点に登ることができます。涸沢の紅葉は別世界を感じさせます。

上高地は、槍ヶ岳、穂高連峰登山のスタート地点です。槍ヶ岳（3180m）のダイナミックな姿は、日本アルプスの象徴であり、ウェストンが日本のマッターホルンと呼んだことでも有名です。1828年に山岳修行僧の播隆上人が初登頂したと伝えられ、松本駅に播隆上人の銅像があります。穂高連峰へは、槍ヶ岳から中岳（3084m）、南岳（3033m）、大キレットを経由して、北穂高岳（3180m）、涸沢岳（3110m）、奥穂高岳（3190m）、前穂高岳（3090m）から上高地へ縦走可能です。また涸沢を拠点として北穂高岳、奥穂高岳へピストンも可能です。北穂高の滝谷は、「鳥も通わぬ」と言われる岩場で、ロッククライミングのメッカです。前穂高岳の東壁は、井上靖の小説「氷壁」の舞台として有名です。奥穂高岳から西穂高岳（2909m）も稜線は続いています、かなりの難所です。

### 郷土料理の紹介

**信州松本山賊焼**：山賊焼きは、大きく開いた鶏肉をニンニクの醤油ダレに漬け込み、片栗粉をまぶして揚げたものです。ビールには最高に合います。

**煮イカ、塩丸イカ**：海のない地方の知恵で、イカを煮たものが煮イカ、煮イカを塩漬けにしたものを塩丸イカ、私の小さい頃は、イカのお刺身と言えばこの煮イカのことを言っていた記憶があります。塩丸イカは、水に浸して塩抜きをしてから料理に使います。

**おやき、灰ころがし**：米のできない山間地の食事で、野沢菜、なすの鉄火味噌などを具材にしたまんじゅうでおやきは、鉄板で焼いたもので、灰ころがしは囲炉裏の灰の中に入れて焼いたもので、周りが硬いので歯の弱い人に無理です。

**野沢菜漬**：畑で2〜3回霜にあわせることで、柔らかくなった野





沢菜を洗って、樽に漬け込んでいきます。この時の塩加減、唐辛子などの入れ方で家庭の味が決まってきます。

**松茸、山菜：**松茸は松本市の四賀地区が有名です。ここには松茸山荘という公共の宿があります。秋は松茸三昧のコース料理が有名です。<http://www.matsutake-sansou.jp/> 松本周辺で採れる山菜は、タラの芽、ウド、コシアブラ、ワラビですが、雪深い場所まで行けばコゴミ、行者ニンニク、イラクサ、根曲がりダケなどを採ることができます。山菜採りと松茸採りどちらも私の趣味です。



山菜は天ぷらが最高です、松茸はホイル焼、松茸ご飯です。

**蜂の子、いなご：**タンパク源として蜂の子の炒めたもの、いなごの佃煮を食べる文化がありましたので、今は珍味として食べることが出来ます。

**イワナ、ヤマメ、鮎：**清流にいるこれらの魚の塩焼きを食べます。

### 方言の紹介

松本平には方言が沢山あります。

私もお年寄りの方とお話するときは自然に方言が出てきます。幾つかご紹介します。

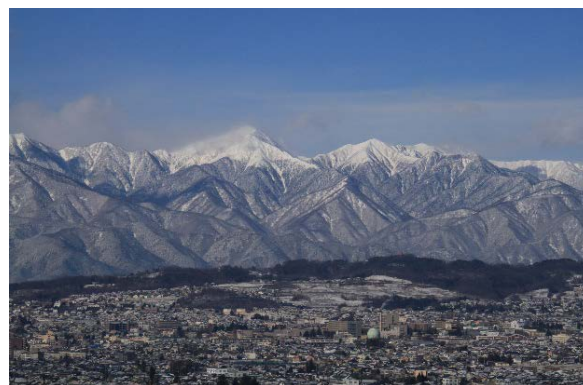
|                                |                    |
|--------------------------------|--------------------|
| オゴツツオ → ご馳走                    | ツモイ → きつい、窮屈       |
| オゾイ → 良くない、悪い                  | コク → 言う            |
| オンジョ → 文句、泣き言                  | ゴシタイ → 疲れた         |
| テキナイ → 疲れて気力がない                | ウツカル、ヨシカカル → 寄りかかる |
| ズクナシ → 気力がない                   | トブ → 走る            |
| イボツル、イボツツリ → すねる、ふてくされることを指します |                    |
| ハカイク → はかどる                    | マエデ → 前            |

### ロケーション

松本市は岳都、北アルプスの玄関口として親しまれています。

私も北アルプスを中心に山歩きを楽しんだ一人です。テレビドラマ白線流しのロケ地にもなったロケーションのいいところです。

松本市街地から西の山々を見て、雄大で三角形をした山が常念岳（2857m）です。その左に蝶ヶ岳（2677m）、右に横通岳（2767m）、東天井岳（2814m）、大天井岳（2922m）の峰々と燕岳（2763m）を見ることができます。【表銀座】安曇野から見る常念岳は、前常念と常念岳が分離して見えます。



松本市内と北アルプス

信州大学から西に常念岳、蝶ヶ岳と剣ヶ峰（3026m）を主峰に持つ乗鞍岳を見ることができます。

東には、美ヶ原の王ヶ鼻（2008m）が、その奥に最高峰でテレビ塔のある王ヶ頭（2034m）を望むことができます。王ヶ頭から見る満点の星空は最高です。美ヶ原は、八ヶ岳中信高原国定公園の北に位置する、日本一広い高原台地です。松本駅からは東側に見える高い山が美ヶ原高原です。

夏は放牧の牛たちがのんびりと草を食べ、高山植物の花が風に揺れています。乗鞍岳には大雪渓があり4月から8月まで、春スキーから夏スキーを楽しむことができます。





大学病院から見る 乗鞍岳



大学病院から見る 常念岳の朝焼け



美ヶ原高原

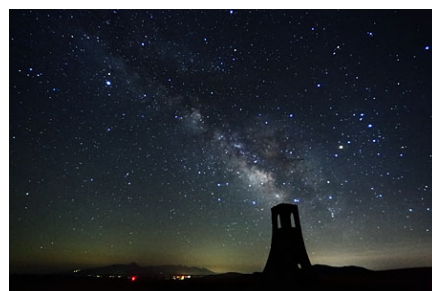


美ヶ原の王ヶ鼻

## まとめ

この度、ご当地自慢を執筆する中で改めて松本は、自然と融合している街であることを再認識しました。自然の恵みである爽やかな空気、美味しい水、吸い込まれるような景観、郷土料理、方言などを大切にしていきたいと思います。

FAR 会の皆様の益々のご健勝とご発展を祈念しています。



## 《編集の小窓》

会員の皆様には、良い新年をお迎えになりましたでしょうか。平成 28 年新年号 (情報誌 44 号) をお届けいたします。さて、今号は、平野氏の《ご当地自慢》で松本市の魅力について、四季の北アルプスの景観や郷土料理・方言等を余す事なく掲載された内容の記事を投稿頂き有難うございました。今回の特集テーマ「自分へのご褒美」への投稿が有りませんでしたので、次号 (情報誌 45 号) の特集テーマは、再度「自分へのご褒美」で原稿を募集していますが、特集テーマにとらわれず原稿を募集していますので、是非とも多くの方からの投稿をお待ちしています。

なお、締切日は、平成 28 年 4 月 15 日をお願いします。

また、会員の皆様、本年度の企画についての第 72 回総会学術大会時における「2016 FAR 会懇親の夕べ」及び第 44 回秋季学術大会時における「2016 日光を巡る旅」への多数の参加をお待ちしています。

(橋本廣信 記)

## FAR 情報誌 No.44 (非売品)

発行日 平成 28 年 1 月 15 日

発行者 山田勝彦

編集委員会 森 克彦 (委員長)

石井 勉 橋本廣信

山田和美

森：連絡先 Tel&Fax. 049-225-2619

Email:mokamokawh@gmail.com